

各位

病虫害防除所長

平成24年度病虫害発生予察技術情報資料（第1号）の送付について

チャトゲコナジラミの県内分布状況（速報）

平成24年3月16日付け特殊報で発表した茶の重要害虫チャトゲコナジラミについて、4月下旬から5月中旬にかけて県内一斉調査を実施したところ、途中経過ではありますが県内数力所において、本虫の新たな発生が確認されました（表1）。なお、一部のほ場では寄生密度が高く、今後すす病の発生などが懸念されますので、注意してください。

本種は全国に分布を拡大しており、新たな侵入地では対策が遅れ、爆発的に増殖することが多く、被害面積を拡大させないためにも、早期の対処が重要です。下記の防除対策に努めてください。

なお、農林水産省HPに「チャの新害虫チャトゲコナジラミの防除マニュアル～総合防除編」が掲載されてますので、参考にしてください（総合防除編が追加されてます）。

<http://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/siryou2/index.html>

表1：チャトゲコナジラミの県内一斉調査結果（途中結果）

地域名	調査日	発生ほ場数 / 調査ほ場数	ホリバーへの最多誘殺数 (ホリバー1枚あたり)
室戸市崎山	H24.5.15	3 / 3	29頭
安芸市東川	H24.5.14	3 / 3	723頭
安芸市下山	H24.5.14	0 / 3	0頭
土佐郡土佐町	H24.5.16	0 / 2	0頭
香美市物部町	H24.5.15	0 / 2	0頭
高岡郡津野町	H24.5.14	10 / 20	150頭
四万十町十和	H24.5.15	26 / 27	調査中
四万十町大正	H24.5.15	17 / 21	調査中
幡多郡三原村	H24.5.15	0 / 2	0頭

防除対策

- 1) 一番茶の摘採時期を過ぎたこれからの防除適期は若齢幼虫発生期である5月下旬～6月下旬です（図1参照）。黄色の粘着板設置や茶株の観察により発生状況を確認し、発生を認めた園では薬剤による防除を行います。散布前に深刈りせん枝やすそ刈り等を行うと薬剤がかかりやすくなります。
- 2) 防除薬剤の選定に関しては、本虫の天敵であるシルベストリコバチの保護利用を考慮し、天敵に影響の小さい農薬を選びましょう。
- 3) 本虫の卵・幼虫は葉裏に寄生していることから、深刈りせん枝などにより寄生葉を除去し、密

度抑制を図ります。なお、せん枝した枝葉は本種の発生源となるため、放置せず土中に埋設するなど適切に処理してください。

4) 冬期にはマシン油乳剤を適宜散布し、翌年の一番茶生育期の発生密度を抑えましょう。

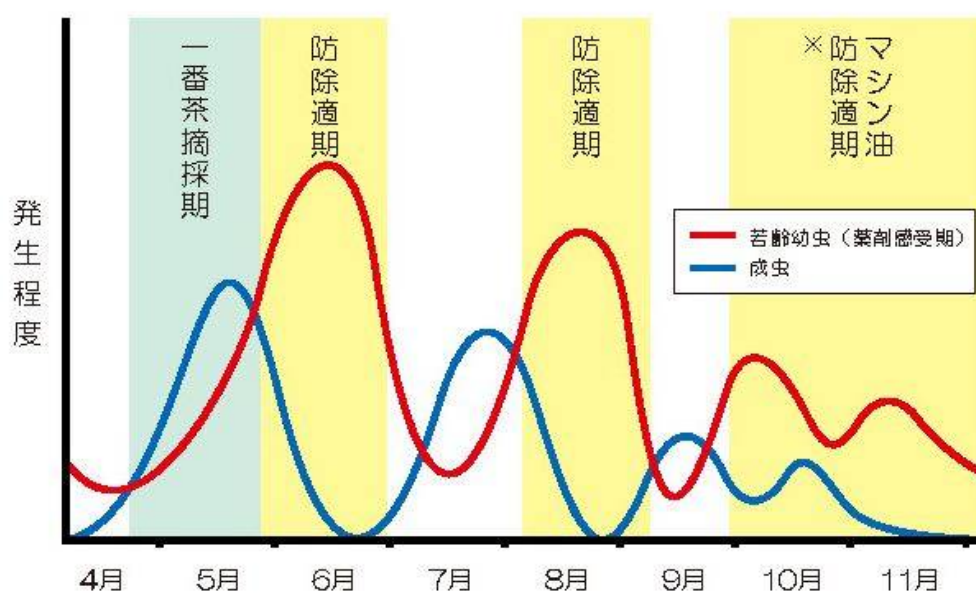


図1：チャトゲコナジラミの発生活動と防除適期との関係



図2、3：ホリバーに誘殺されたチャトゲコナジラミ成虫（体長 1.1～1.3mm）



図4：新梢に寄生するチャトゲコナジラミ成虫（四万十町）写真提供：高南普及所